

令和 4 年度 病院事業決算状況

都道府県名 大阪府

総務省

- 目次 -

市町村・組合名	病院名	ページ			
-	大阪府立病院機構	2	阪南市	阪南市民病院	20
大阪市	総合医療センター	3			
大阪市	十三市民病院	4			
堺市	堺市立総合医療センター	5			
岸和田市	岸和田市民病院	6			
豊中市	市立豊中病院	7			
池田市	市立池田病院	8			
吹田市	吹田市民病院	9			
泉大津市	市立病院	10			
貝塚市	貝塚病院	11			
枚方市	市立ひらかた病院	12			
八尾市	市立病院	13			
泉佐野市	泉佐野病院	14			
和泉市	市立病院	15			
箕面市	市立病院	16			
柏原市	市立柏原病院	17			
藤井寺市	市立藤井寺市民病院	18			
東大阪市	総合病院	19			

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名			
病院名		大阪府立病院機構	
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	8,837,685	
決算規模(千円)	3,895,343,951	
標準財政規模(千円)	1,661,424,631	
財政力指数	0.74187	
経常収支比率(%)	102.2	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	11.5
	将来負担比率(%)	123.3

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	19,379			
1 経常収益	19,379			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	19,379			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	19,379			
2 経常費用	19,379			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	19,379			
(うち支払利息)	19,379	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,752,412
決算規模(千円)	1,906,782,922
標準財政規模(千円)	872,042,473
財政力指数	0.92
経常収支比率(%)	92.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	187,345			
1 経常収益	187,345			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	187,345			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	187,345			
2 経常費用	187,345			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	187,345			
(うち支払利息)	187,345	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	5,974,408			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	大阪市		
病院名	十三市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	200床以上～300床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	2,752,412
決算規模(千円)	1,906,782,922
標準財政規模(千円)	872,042,473
財政力指数	0.92
経常収支比率(%)	92.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	117,617			
1 経常収益	117,617			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	117,617			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	117,617			
2 経常費用	117,617			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	63.7
材料費	-	-	26.1	21.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	10.1
減価償却費	-	-	8.7	9.7
経費	-	-	22.1	28.9
(うち委託料)	-	-	11.7	13.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	117,617			
(うち支払利息)	117,617	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	5,614,990			
経常収支比率	100.0		103.3	101.8
医業収支比率	-		85.5	80.8
修正医業収支比率	-		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

当該貸借対照表の数値は、事業単位(当該団体は1事業に経営している病院が2以上ある)の決算額である。

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	堺市		
病院名	堺市立総合医療センター		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%)・日				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	826,161
決算規模(千円)	454,091,696
標準財政規模(千円)	229,936,747
財政力指数	0.78
経常収支比率(%)	102.4
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	-			
1 経常収益	-			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	-			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	155,184			
2 経常費用	155,184			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	155,184			
(うち支払利息)	155,184	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損益	-155,184			
純損益	-155,184			
累積欠損金	-			
経常収支比率	-		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	-		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	岸和田市				
病院名	岸和田市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	30,575 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	32	指定病院の状況	救臨が	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	400床以上~500床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	400	69.1	63.4	66.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	400	69.1	63.4	66.3
平均在院日数(一般病床のみ)		11.3	10.7	10.8

設立団体の状況		
人口(人)	190,658	
決算規模(千円)	84,143,922	
標準財政規模(千円)	44,155,754	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	96.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.1
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,005,487			
1 経常収益	16,005,487			
(1) 医業収益	12,824,384			
(うち修正医業収益)	12,574,414			
入院収益	7,885,661			
外来収益	4,546,187			
診療収入計	12,431,848			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	392,536			
(うち他会計負担金)	249,970			
(2) 医業外収益	3,181,103			
(うち国・都道府県補助金)	2,203,953			
(うち他会計補助・負担金)	752,656			
(うち長期前受金戻入)	81,616			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	14,436,168			
2 経常費用	14,394,560			
(1) 医業費用	13,562,954			
職員給与費	6,500,219	50.7	59.4	57.2
材料費	3,996,760	31.2	26.1	28.0
(うち薬品費)	2,102,180	16.4	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,822,820	14.2	11.8	12.7
減価償却費	721,107	5.6	8.7	8.0
経費	2,277,023	17.8	22.1	19.0
(うち委託料)	1,531,223	11.9	11.7	10.0
研究研修費	46,006			
資産減耗費	21,839			
(2) 医業外費用	831,606			
(うち支払利息)	143,978	1.1	1.0	1.0
(3) 特別損失	41,608			
損益	1,610,927			
純損益	1,569,319			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.2		103.3	103.2
医業収支比率	94.6		85.5	88.6
修正医業収支比率	92.7		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	6.3		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	6.3		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	104.2		91.9	93.4

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	21,119,541
1 固定資産	14,696,960
(1) 有形固定資産	14,453,874
(2) 無形固定資産	1,108
(3) 投資その他の資産	241,978
2 流動資産	6,422,581
(1) 現金及び預金	3,473,590
(2) 未収金及び未収収益	2,843,537
(3) 貸倒引当金()	1,441
(4) 貯蔵品	106,895
3 繰延資産	-
負債合計	12,390,211
1 固定負債	8,397,120
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,718,359
(2) その他の企業債	1,287,808
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,248,317
(7) 一ス債務	142,636
2 流動負債	3,578,087
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,426,433
(2) その他の企業債	55,992
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	382,422
(6) リ一ス債務	47,387
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,665,853
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	415,004
(1) 長期前受金	666,250
(2) 長期前受金収益化累計額()	251,246
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	8,729,330
1 資本金	8,495,685
2 剰余金	233,645
(1) 資本金剰余金	101,255
(2) 利益剰余金	132,390
負債・資本合計	21,119,541
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,457,988	1,002,626
資本勘定繰入	781,165	400,000
計	2,239,153	1,402,626

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	豊中市				
病院名	市立豊中病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	67,544 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	500床以上		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	599	71.1	67.7	63.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	14	-	-	1.8
計	613	69.4	66.2	61.7
平均在院日数(一般病床のみ)		10.1	10.3	10.7

設立団体の状況		
人口(人)	401,558	
決算規模(千円)	179,343,577	
標準財政規模(千円)	89,906,851	
財政力指数	0.87	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	22,034,205			
1 経常収益	22,034,205			
(1) 医業収益	17,907,758			
(うち修正医業収益)	17,438,205			
入院収益	11,488,529			
外来収益	5,705,449			
診療収入計	17,193,978			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	713,780			
(うち他会計負担金)	469,553			
(2) 医業外収益	4,126,447			
(うち国・都道府県補助金)	2,489,486			
(うち他会計補助・負担金)	947,771			
(うち長期前受金戻入)	491,065			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	21,812,901			
2 経常費用	21,812,901			
(1) 医業費用	20,652,060			
職員給与費	10,382,519	58.0	59.4	52.8
材料費	5,276,165	29.5	26.1	31.5
(うち薬品費)	3,084,907	17.2	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	2,180,369	12.2	11.8	13.9
減価償却費	1,291,653	7.2	8.7	7.7
経費	3,601,979	20.1	22.1	18.0
(うち委託料)	2,163,877	12.1	11.7	10.7
研究研修費	46,582			
資産減耗費	53,162			
(2) 医業外費用	1,160,841			
(うち支払利息)	128,550	0.7	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損益	221,304			
純損益	221,304			
累積欠損金	-			
経常収支比率	101.0		103.3	102.8
医業収支比率	86.7		85.5	90.3
修正医業収支比率	84.4		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	6.4		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	7.9		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	6.4		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	94.5		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	28,053,442
1 固定資産	16,801,633
(1) 有形固定資産	16,754,388
(2) 無形固定資産	32,874
(3) 投資その他の資産	14,371
2 流動資産	11,251,809
(1) 現金及び預金	7,315,826
(2) 未収金及び未収収益	3,639,562
(3) 貸倒引当金()	12,791
(4) 貯蔵品	278,361
3 繰延資産	-
負債合計	15,310,251
1 固定負債	7,800,742
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	5,488,826
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,311,916
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	3,974,202
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,600,088
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	630,157
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,650,524
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	3,535,307
(1) 長期前受金	7,809,688
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,274,381
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	12,743,191
1 資本金	11,093,374
2 剰余金	1,649,817
(1) 資本剰余金	1,439,439
(2) 利益剰余金	210,378
負債・資本合計	28,053,442
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,407,192	1,417,324
資本勘定繰入	945,098	945,098
計	2,352,290	2,362,422

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	池田市				
病院名	市立池田病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	透I未訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	39,005 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	28	指定病院の状況	救臨 地 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	364	76.0	77.2	81.6
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	364	76.0	77.2	81.6
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.9	11.1

設立団体の状況		
人口(人)	104,993	
決算規模(千円)	40,804,878	
標準財政規模(千円)	23,419,207	
財政力指数	0.82	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	1.2
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	15,050,725			
1 経常収益	15,050,725			
(1) 医業収益	12,729,553			
(うち修正医業収益)	12,610,848			
入院収益	7,919,222			
外来収益	4,469,683			
診療収入計	12,388,905			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	340,648			
(うち他会計負担金)	118,705			
(2) 医業外収益	2,321,172			
(うち国・都道府県補助金)	2,075,578			
(うち他会計補助・負担金)	104,406			
(うち長期前受金戻入)	41,349			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	13,695,189			
2 経常費用	13,695,189			
(1) 医業費用	12,962,424			
職員給与費	6,309,147	49.6	59.4	59.0
材料費	3,842,633	30.2	26.1	25.6
(うち薬品費)	2,445,267	19.2	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,387,767	10.9	11.8	11.2
減価償却費	701,315	5.5	8.7	8.6
経費	2,061,003	16.2	22.1	21.3
(うち委託料)	1,326,778	10.4	11.7	11.6
研究研修費	40,569			
資産減耗費	7,757			
(2) 医業外費用	732,765			
(うち支払利息)	124,207	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	1,355,536			
純損益	1,355,536			
累積欠損金	14,676,518			
経常収支比率	109.9		103.3	104.8
医業収支比率	98.2		85.5	87.0
修正医業収支比率	97.3		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	1.5		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	1.8		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	1.5		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	108.3		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	19,645,703
1 固定資産	12,762,942
(1) 有形固定資産	12,741,763
(2) 無形固定資産	21,179
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	6,882,761
(1) 現金及び預金	4,398,836
(2) 未収金及び未収収益	2,458,103
(3) 貸倒引当金()	14,305
(4) 貯蔵品	40,127
3 繰延資産	-
負債合計	9,745,510
1 固定負債	6,022,987
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	4,343,366
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,593,109
(7) 一時的借入金	86,512
2 流動負債	3,478,644
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,173,093
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	399,853
(6) リース債務	22,685
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,814,984
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	243,879
(1) 長期前受金	407,376
(2) 長期前受金収益化累計額()	163,497
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	9,900,193
1 資本金	24,565,331
2 剰余金	-14,665,138
(1) 資本剰余金	11,380
(2) 利益剰余金	-14,676,518
負債・資本合計	19,645,703
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	611,443	223,111
資本勘定繰入	796,889	796,889
計	1,408,332	1,020,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	115.3
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名 大阪府	
市町村・組合名	吹田市		
病院名	吹田市民病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	400床以上～500床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数 (%・日)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況	
人口(人)	385,567
決算規模(千円)	156,308,636
標準財政規模(千円)	78,624,182
財政力指数	0.96
経常収支比率(%)	95.6
健全化	実質赤字比率(%)
判断比率	連結実質赤字比率(%)
	実質公債費比率(%)
	将来負担比率(%)

損益計算書 (千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	122,349			
1 経常収益	122,349			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	122,349			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	122,349			
2 経常費用	122,349			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	57.2
材料費	-	-	26.1	28.0
(うち薬品費)	-	-	14.0	14.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	12.7
減価償却費	-	-	8.7	8.0
経費	-	-	22.1	19.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.0
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	122,349			
(うち支払利息)	122,349	-	1.0	1.0
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益	純損益	-		
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	103.2
医業収支比率	-		85.5	88.6
修正医業収支比率	-		82.8	85.9
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.7
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	93.4

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表 (千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	泉大津市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透未訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	19,313 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	22	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	230	47.1	52.1	49.9
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	230	47.1	52.1	49.9
平均在院日数(一般病床のみ)		10.7	10.8	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	74,412	
決算規模(千円)	34,024,014	
標準財政規模(千円)	17,598,552	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	94.8	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.7
	将来負担比率(%)	6.1

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,418,928			
1 経常収益	5,945,687			
(1) 医業収益	4,433,006			
(うち修正医業収益)	4,212,404			
入院収益	2,192,854			
外来収益	1,717,273			
診療収入計	3,910,127			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	522,879			
(うち他会計負担金)	220,602			
(2) 医業外収益	1,512,681			
(うち国・都道府県補助金)	878,940			
(うち他会計補助・負担金)	559,849			
(うち長期前受金戻入)	36,339			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	473,241			
(うち他会計繰入金)	473,241			
総費用	5,810,157			
2 経常費用	5,810,157			
(1) 医業費用	5,539,402			
職員給与費	3,052,152	68.9	59.4	63.7
材料費	926,494	20.9	26.1	21.0
(うち薬品費)	529,335	11.9	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	396,779	9.0	11.8	10.1
減価償却費	290,662	6.6	8.7	9.7
経費	1,254,845	28.3	22.1	28.9
(うち委託料)	643,982	14.5	11.7	13.6
研究研修費	9,380			
資産減耗費	5,869			
(2) 医業外費用	270,755			
(うち支払利息)	52,427	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	135,530			
純損益	608,771			
累積欠損金	7,160,767			
経常収支比率	102.3		103.3	101.8
医業収支比率	80.0		85.5	80.8
修正医業収支比率	76.0		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	13.1		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	17.6		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	19.5		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	88.9		91.9	89.2

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	8,849,532
1 固定資産	7,129,299
(1) 有形固定資産	7,038,923
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	90,376
2 流動資産	1,720,233
(1) 現金及び預金	807,980
(2) 未収金及び未収収益	896,849
(3) 貸倒引当金()	206
(4) 貯蔵品	15,610
3 繰延資産	-
負債合計	6,352,183
1 固定負債	4,064,662
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,332,884
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	400,000
(6) 引当金	1,277,489
(7) 一時的借入金	54,289
2 流動負債	1,868,115
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	467,621
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	50,000
(5) 引当金	193,621
(6) リース債務	23,362
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,107,103
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	419,406
(1) 長期前受金	583,759
(2) 長期前受金収益化累計額()	164,353
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	2,497,349
1 資本金	9,467,383
2 剰余金	-6,970,034
(1) 資本剰余金	190,733
(2) 利益剰余金	-7,160,767
負債・資本合計	8,849,532
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	780,451	1,253,692
資本勘定繰入	346,308	346,308
計	1,126,759	1,600,000

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	282,657	6.4
令和2年度	872,511	21.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	161.5
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	貝塚市				
病院名	貝塚病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	21,079 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	18	指定病院の状況	救臨		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	249	61.7	66.9	62.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	249	61.7	66.9	62.1
平均在院日数(一般病床のみ)		8.4	8.4	8.7

設立団体の状況		
人口(人)	84,443	
決算規模(千円)	37,675,219	
標準財政規模(千円)	18,978,214	
財政力指数	0.65	
経常収支比率(%)	95.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.7
	将来負担比率(%)	18.8

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	8,196,362			
1 経常収益	8,196,362			
(1) 医業収益	6,875,987			
(うち修正医業収益)	6,680,287			
入院収益	3,853,037			
外来収益	2,660,794			
診療収入計	6,513,831			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	362,156			
(うち他会計負担金)	195,700			
(2) 医業外収益	1,320,375			
(うち国・都道府県補助金)	706,541			
(うち他会計補助・負担金)	297,173			
(うち長期前受金戻入)	266,366			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	7,874,492			
2 経常費用	7,874,492			
(1) 医業費用	7,492,930			
職員給与費	4,072,117	59.2	59.4	63.7
材料費	1,786,848	26.0	26.1	21.0
(うち薬品費)	869,824	12.7	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	875,152	12.7	11.8	10.1
減価償却費	496,422	7.2	8.7	9.7
経費	1,105,010	16.1	22.1	28.9
(うち委託料)	669,124	9.7	11.7	13.6
研究研修費	18,320			
資産減耗費	14,213			
(2) 医業外費用	381,562			
(うち支払利息)	67,039	1.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益	321,870			
純損益	321,870			
累積欠損金	1,628,256			
経常収支比率	104.1		103.3	101.8
医業収支比率	91.8		85.5	80.8
修正医業収支比率	89.2		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	6.0		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.2		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	6.0		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	97.8		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	7,109,184
1 固定資産	4,899,198
(1) 有形固定資産	4,895,304
(2) 無形固定資産	3,344
(3) 投資その他の資産	550
2 流動資産	2,209,986
(1) 現金及び預金	908,544
(2) 未収金及び未収収益	1,222,219
(3) 貸倒引当金()	35,694
(4) 貯蔵品	43,529
3 繰延資産	-
負債合計	6,599,600
1 固定負債	3,978,624
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,717,839
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	20,000
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,234,411
(7) 一ス債務	6,374
2 流動負債	2,118,224
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	744,301
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	10,000
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	230,609
(6) リ一ス債務	16,773
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,090,701
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	502,752
(1) 長期前受金	4,156,332
(2) 長期前受金収益化累計額()	3,653,580
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	509,584
1 資本金	1,328,761
2 剰余金	-819,177
(1) 資本剰余金	809,079
(2) 利益剰余金	-1,628,256
負債・資本合計	7,109,184
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	636,101	492,873
資本勘定繰入	338,052	462,773
計	974,153	955,646

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	71,207	1.2

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	23.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	枚方市				
病院名	市立ひらかた病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	31,587 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨感地輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	327	74.2	72.3	69.8
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	8	70.3	85.8	56.2
計	335	74.1	72.7	69.4
平均在院日数(一般病床のみ)		9.9	10.1	10.3

設立団体の状況		
人口(人)	397,289	
決算規模(千円)	160,424,875	
標準財政規模(千円)	81,083,765	
財政力指数	0.77	
経常収支比率(%)	95.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	0.6
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	12,285,874			
1 経常収益	12,285,025			
(1) 医業収益	9,441,044			
(うち修正医業収益)	9,023,837			
入院収益	5,882,324			
外来収益	2,797,461			
診療収入計	8,679,785			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	761,259			
(うち他会計負担金)	417,207			
(2) 医業外収益	2,843,981			
(うち国・都道府県補助金)	1,526,360			
(うち他会計補助・負担金)	653,252			
(うち長期前受金戻入)	472,268			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	849			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	11,056,340			
2 経常費用	11,055,134			
(1) 医業費用	10,480,936			
職員給与費	5,292,327	56.1	59.4	59.0
材料費	2,020,862	21.4	26.1	25.6
(うち薬品費)	944,374	10.0	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,068,717	11.3	11.8	11.2
減価償却費	910,036	9.6	8.7	8.6
経費	2,180,945	23.1	22.1	21.3
(うち委託料)	1,268,892	13.4	11.7	11.6
研究研修費	18,167			
資産減耗費	58,599			
(2) 医業外費用	574,198			
(うち支払利息)	108,179	1.1	1.0	1.1
(3) 特別損失	1,206			
経常損益	1,229,891			
純損益	1,229,534			
累積欠損金	-			
経常収支比率	111.1		103.3	104.8
医業収支比率	90.1		85.5	87.0
修正医業収支比率	86.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	8.7		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	11.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	8.7		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	101.4		91.9	95.1

備考：「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	17,337,083
1 固定資産	9,659,253
(1) 有形固定資産	9,640,988
(2) 無形固定資産	5,556
(3) 投資その他の資産	12,709
2 流動資産	7,677,830
(1) 現金及び預金	5,532,472
(2) 未収金及び未収収益	2,001,642
(3) 貸倒引当金()	495
(4) 貯蔵品	141,938
3 繰延資産	-
負債合計	13,646,129
1 固定負債	10,081,603
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	8,415,087
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	1,665,679
(7) 一ス債務	837
2 流動負債	2,473,951
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	970,559
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	310,707
(6) リ一ス債務	1,434
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	1,105,177
(9) 前受金及び前受収益	12,423
3 繰延収益	1,090,575
(1) 長期前受金	3,173,569
(2) 長期前受金収益化累計額()	2,082,994
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,690,954
1 資本金	10,299
2 剰余金	3,680,655
(1) 資本剰余金	70,360
(2) 利益剰余金	3,610,295
負債・資本合計	17,337,083
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	1,070,369	1,070,459
資本勘定繰入	428,625	428,625
計	1,498,994	1,499,084

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたもの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	八尾市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド透I未訓ガ		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	40,470 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救臨が地		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	380	70.2	69.5	75.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	380	70.2	69.5	75.1
平均在院日数(一般病床のみ)		8.8	8.7	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	264,642	
決算規模(千円)	122,716,726	
標準財政規模(千円)	60,034,696	
財政力指数	0.71	
経常収支比率(%)	98.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	3.4
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	16,532,662			
1 経常収益	16,477,950			
(1) 医業収益	13,290,513			
(うち修正医業収益)	12,966,397			
入院収益	8,615,078			
外来収益	4,091,441			
診療収入計	12,706,519			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	583,994			
(うち他会計負担金)	324,116			
(2) 医業外収益	3,187,437			
(うち国・都道府県補助金)	2,026,749			
(うち他会計補助・負担金)	652,071			
(うち長期前受金戻入)	423,319			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	54,712			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	15,521,607			
2 経常費用	15,470,395			
(1) 医業費用	14,558,155			
職員給与費	7,229,346	54.4	59.4	59.0
材料費	3,397,213	25.6	26.1	25.6
(うち薬品費)	2,011,286	15.1	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	1,385,927	10.4	11.8	11.2
減価償却費	982,107	7.4	8.7	8.6
経費	2,901,758	21.8	22.1	21.3
(うち委託料)	2,352,386	17.7	11.7	11.6
研究研修費	34,001			
資産減耗費	13,730			
(2) 医業外費用	912,240			
(うち支払利息)	165,909	1.2	1.0	1.1
(3) 特別損失	51,212			
損益	1,007,555			
純損益	1,011,055			
累積欠損金	-			
経常収支比率	106.5		103.3	104.8
医業収支比率	91.3		85.5	87.0
修正医業収支比率	89.1		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	5.9		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.3		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	5.9		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.2		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	24,070,009
1 固定資産	13,675,266
(1) 有形固定資産	13,637,934
(2) 無形固定資産	142
(3) 投資その他の資産	37,190
2 流動資産	10,394,743
(1) 現金及び預金	7,615,770
(2) 未収金及び未収収益	2,707,964
(3) 貸倒引当金()	8,873
(4) 貯蔵品	71,104
3 繰延資産	-
負債合計	18,409,184
1 固定負債	11,898,958
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	9,354,969
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	2,437,386
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	4,473,995
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,331,602
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	637,841
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	2,461,119
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	2,036,231
(1) 長期前受金	6,760,104
(2) 長期前受金収益化累計額()	4,723,873
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	5,660,825
1 資本金	2,797,285
2 剰余金	2,863,540
(1) 資本金剰余金	18,025
(2) 利益剰余金	2,845,515
負債・資本合計	24,070,009
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	976,187	976,187
資本勘定繰入	820,873	820,873
計	1,797,060	1,797,060

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	泉佐野市		
病院名	泉佐野病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	300床以上~400床未満

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	100,131	
決算規模(千円)	76,316,581	
標準財政規模(千円)	24,080,948	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	104.4	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	8.5
	将来負担比率(%)	27.9

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	130,402			
1 経常収益	130,402			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	130,402			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	130,402			
2 経常費用	130,402			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	-	-	8.7	8.6
経費	-	-	22.1	21.3
(うち委託料)	-	-	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	130,402			
(うち支払利息)	130,402	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	104.8
医業収支比率	-		85.5	87.0
修正医業収支比率	-		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名		和泉市			
病院名		市立病院			
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド透I 訓力		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	33,444 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	33	指定病院の状況	救臨が 地 輪		
許可公営企業	許可	看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	307	93.1	92.8	96.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	307	93.1	92.8	96.2
平均在院日数(一般病床のみ)		11.5	11.7	11.8

設立団体の状況		
人口(人)	184,495	
決算規模(千円)	73,259,622	
標準財政規模(千円)	36,656,715	
財政力指数	0.72	
経常収支比率(%)	95.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	782,387			
1 経常収益	782,387			
(1) 医業収益	217,336			
(うち修正医業収益)	22,698			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	217,336			
(うち他会計負担金)	194,638			
(2) 医業外収益	565,051			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	66,477			
(うち長期前受金戻入)	411,812			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	1,237,084			
2 経常費用	1,237,084			
(1) 医業費用	1,154,552			
職員給与費	-	-	59.4	59.0
材料費	-	-	26.1	25.6
(うち薬品費)	-	-	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	11.2
減価償却費	908,517	418.0	8.7	8.6
経費	245,992	113.2	22.1	21.3
(うち委託料)	23,560	10.8	11.7	11.6
研究研修費	-			
資産減耗費	43			
(2) 医業外費用	82,532			
(うち支払利息)	73,928	34.0	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	63.2		103.3	104.8
医業収支比率	18.8		85.5	87.0
修正医業収支比率	2.0		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	33.4		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	120.1		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	33.4		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	42.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	11,851,266
1 固定資産	11,756,010
(1) 有形固定資産	11,752,817
(2) 無形固定資産	3,193
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	95,256
(1) 現金及び預金	35,957
(2) 未収金及び未収収益	59,299
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	13,957,307
1 固定負債	12,534,526
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	11,999,589
(2) その他の企業債	534,937
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	1,082,247
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	898,878
(2) その他の企業債	88,113
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	92,598
(9) 前受金及び前受収益	658
3 繰延収益	340,534
(1) 長期前受金	1,643,633
(2) 長期前受金収益化累計額()	1,303,099
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-2,106,041
1 資本金	9,526,831
2 剰余金	-11,632,872
(1) 資本剰余金	2,224,478
(2) 利益剰余金	-13,857,350
負債・資本合計	11,851,266
不良債務	88,113
実質資金不足額	88,113
資本不足額()	2,106,041
資本不足額(繰延収益控除後)()	1,765,507
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	255,549	261,115
資本勘定繰入	580,914	632,049
計	836,463	893,164

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	88,113	40.5
令和3年度	51,525	23.6
令和2年度	28,870	13.0

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	6376.0
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	623,050
地財法上の資金不足比率(%)	286.6

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度定期的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度定期的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	箕面市				
病院名	市立病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	I 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	34,067 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	26	指定病院の状況	救臨	地	輪
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	300床以上~400床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	317	69.3	75.3	71.0
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	317	69.3	75.3	71.0
平均在院日数(一般病床のみ)		10.2	10.6	11.5

設立団体の状況		
人口(人)	136,868	
決算規模(千円)	71,862,843	
標準財政規模(千円)	29,233,907	
財政力指数	0.90	
経常収支比率(%)	92.9	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.4
	将来負担比率(%)	8.0

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	11,407,614			
1 経常収益	11,407,614			
(1) 医業収益	8,917,790			
(うち修正医業収益)	8,790,721			
入院収益	5,920,929			
外来収益	2,690,859			
診療収入計	8,611,788			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	306,002			
(うち他会計負担金)	127,069			
(2) 医業外収益	2,489,824			
(うち国・都道府県補助金)	2,123,383			
(うち他会計補助・負担金)	233,145			
(うち長期前受金戻入)	65,124			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	10,387,617			
2 経常費用	10,314,710			
(1) 医業費用	9,917,854			
職員給与費	5,659,534	63.5	59.4	59.0
材料費	2,145,679	24.1	26.1	25.6
(うち薬品費)	1,236,069	13.9	14.0	13.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	857,839	9.6	11.8	11.2
減価償却費	513,677	5.8	8.7	8.6
経費	1,569,778	17.6	22.1	21.3
(うち委託料)	850,783	9.5	11.7	11.6
研究研修費	23,251			
資産減耗費	5,935			
(2) 医業外費用	396,856			
(うち支払利息)	4,335	-	1.0	1.1
(3) 特別損失	72,907			
損益	1,092,904			
純損益	1,019,997			
累積欠損金	10,594,737			
経常収支比率	110.6		103.3	104.8
医業収支比率	89.9		85.5	87.0
修正医業収支比率	88.6		82.8	84.4
他会計繰入金対経常収益比率	3.2		11.1	9.3
他会計繰入金対医業収益比率	4.0		14.1	11.8
他会計繰入金対総収益比率	3.2		11.0	9.2
実質収益対経常費用比率	107.1		91.9	95.1

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	13,618,505
1 固定資産	9,092,901
(1) 有形固定資産	9,061,057
(2) 無形固定資産	1,186
(3) 投資その他の資産	30,658
2 流動資産	4,525,604
(1) 現金及び預金	2,562,702
(2) 未収金及び未収収益	1,915,110
(3) 貸倒引当金()	4,380
(4) 貯蔵品	52,172
3 繰延資産	-
負債合計	6,638,847
1 固定負債	4,398,772
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	683,761
(2) その他の企業債	402,000
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	1,300,000
(6) 引当金	1,615,551
(7) 一時的借入金	397,460
2 流動負債	1,519,949
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	231,680
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	347,525
(6) リース債務	44,702
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	890,720
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	720,126
(1) 長期前受金	1,225,254
(2) 長期前受金収益化累計額()	505,128
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	6,979,658
1 資本金	16,162,929
2 剰余金	-9,183,271
(1) 資本剰余金	1,406,466
(2) 利益剰余金	-10,589,737
負債・資本合計	13,618,505
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	543,801	360,214
資本勘定繰入	276,615	1,010
計	820,416	361,224

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	118.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	柏原市				
病院名	市立柏原病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	条例全部	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	18,350 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	16	指定病院の状況	救臨 輪		
許可公営企業		看護配置	7:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	直営		
		類似区分	200床以上～300床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	220	50.4	55.0	62.3
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	220	50.4	55.0	62.3
平均在院日数(一般病床のみ)		12.0	12.8	12.9

設立団体の状況		
人口(人)	68,775	
決算規模(千円)	29,006,677	
標準財政規模(千円)	15,837,433	
財政力指数	0.60	
経常収支比率(%)	96.1	
健全化	実質赤字比率(%)	-
判断比率	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	4.3
	将来負担比率(%)	2.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	6,028,686			
1 経常収益	6,028,686			
(1) 医業収益	3,737,493			
(うち修正医業収益)	3,641,972			
入院収益	2,379,151			
外来収益	1,043,799			
診療収入計	3,422,950			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	314,543			
(うち他会計負担金)	95,521			
(2) 医業外収益	2,291,193			
(うち国・都道府県補助金)	1,859,409			
(うち他会計補助・負担金)	196,987			
(うち長期前受金戻入)	159,224			
(うち資本費繰入収益)	55,636			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	5,077,953			
2 経常費用	5,046,729			
(1) 医業費用	4,769,857			
職員給与費	2,853,122	76.3	59.4	63.7
材料費	700,884	18.8	26.1	21.0
(うち薬品費)	387,071	10.4	14.0	10.6
(うち薬品費以外の医薬材料費)	286,847	7.7	11.8	10.1
減価償却費	316,947	8.5	8.7	9.7
経費	873,048	23.4	22.1	28.9
(うち委託料)	599,722	16.0	11.7	13.6
研究研修費	6,743			
資産減耗費	19,113			
(2) 医業外費用	276,872			
(うち支払利息)	61,260	1.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	31,224			
損益	981,957			
純損益	950,733			
累積欠損金	-			
経常収支比率	119.5		103.3	101.8
医業収支比率	78.4		85.5	80.8
修正医業収支比率	76.4		82.8	77.4
他会計繰入金対経常収益比率	4.9		11.1	12.3
他会計繰入金対医業収益比率	7.8		14.1	16.5
他会計繰入金対総収益比率	4.9		11.0	12.3
実質収益対経常費用比率	113.7		91.9	89.2

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	9,235,247
1 固定資産	5,252,573
(1) 有形固定資産	5,114,267
(2) 無形固定資産	65,980
(3) 投資その他の資産	72,326
2 流動資産	3,982,674
(1) 現金及び預金	2,990,008
(2) 未収金及び未収収益	994,694
(3) 貸倒引当金()	15,649
(4) 貯蔵品	13,621
3 繰延資産	-
負債合計	6,212,538
1 固定負債	3,996,502
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,112,144
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	880,978
(7) 一ス債務	3,380
2 流動負債	1,141,917
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	449,250
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	147,817
(6) リ一ス債務	882
(7) 一時借入金	200,000
(8) 未払金及び未払費用	325,971
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	1,074,119
(1) 長期前受金	6,679,388
(2) 長期前受金収益化累計額()	5,605,269
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	3,022,709
1 資本金	1,207,261
2 剰余金	1,815,448
(1) 資本金剰余金	131,948
(2) 利益剰余金	1,683,500
負債・資本合計	9,235,247
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実績入額
収益勘定繰入	331,953	292,508
資本勘定繰入	229,590	233,727
計	561,543	526,235

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	藤井寺市				
病院名	市立藤井寺市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド	訓	
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	5,423 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	9	指定病院の状況	臨		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	-	経営形態	直営		
		類似区分	50床以上~100床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	98	36.6	45.6	53.2
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	98	36.6	45.6	53.2
平均在院日数(一般病床のみ)		10.6	9.9	9.5

設立団体の状況		
人口(人)	63,688	
決算規模(千円)	25,049,099	
標準財政規模(千円)	14,684,339	
財政力指数	0.61	
経常収支比率(%)	96.6	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	2.5
	将来負担比率(%)	45.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	1,929,319			
1 経常収益	1,929,319			
(1) 医業収益	1,465,977			
(うち修正医業収益)	1,465,977			
入院収益	509,649			
外来収益	899,397			
診療収入計	1,409,046			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	56,931			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	463,342			
(うち国・都道府県補助金)	354,926			
(うち他会計補助・負担金)	83,290			
(うち長期前受金戻入)	20,338			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	2,111,614			
2 経常費用	2,111,614			
(1) 医業費用	2,025,576			
職員給与費	1,120,834	76.5	59.4	76.5
材料費	537,853	36.7	26.1	14.9
(うち薬品費)	414,429	28.3	14.0	7.9
(うち薬品費以外の医薬材料費)	112,718	7.7	11.8	6.4
減価償却費	125,013	8.5	8.7	11.5
経費	238,144	16.2	22.1	32.6
(うち委託料)	151,564	10.3	11.7	14.8
研究研修費	2,479			
資産減耗費	1,253			
(2) 医業外費用	86,038			
(うち支払利息)	10,905	0.7	1.0	1.3
(3) 特別損失	-			
経常損失	-182,295			
純損失	-182,295			
累積欠損金	2,328,666			
経常収支比率	91.4		103.3	101.5
医業収支比率	72.4		85.5	73.2
修正医業収支比率	72.4		82.8	69.2
他会計繰入金対経常収益比率	4.3		11.1	22.3
他会計繰入金対医業収益比率	5.7		14.1	33.0
他会計繰入金対総収益比率	4.3		11.0	22.3
実質収益対経常費用比率	87.4		91.9	78.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,216,590
1 固定資産	1,079,404
(1) 有形固定資産	1,078,969
(2) 無形固定資産	166
(3) 投資その他の資産	269
2 流動資産	1,137,186
(1) 現金及び預金	833,393
(2) 未収金及び未収収益	288,842
(3) 貸倒引当金()	2,221
(4) 貯蔵品	17,095
3 繰延資産	-
負債合計	1,669,695
1 固定負債	1,271,541
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	574,584
(2) その他の企業債	164,470
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	532,487
(7) 一ス債務	-
2 流動負債	336,586
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	88,957
(2) その他の企業債	14,221
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	101,845
(6) リ一ス債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	131,563
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	61,568
(1) 長期前受金	114,404
(2) 長期前受金収益化累計額()	52,836
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	546,895
1 資本金	2,813,833
2 剰余金	-2,266,938
(1) 資本金剰余金	61,728
(2) 利益剰余金	-2,328,666
負債・資本合計	2,216,590
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	83,290	83,290
資本勘定繰入	48,820	48,820
計	132,110	132,110

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	158.8
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)		都道府県名	
		大阪府	
市町村・組合名	東大阪市		
病院名	総合病院		
施設及び業務概況等			
法適用区分		特殊診療機能	
病院区分		不採算地区病院	
建物面積	- m ²	不採算地区中核病院	
診療科数	-	指定病院の状況	
許可公営企業		看護配置	
DPC対象病院	-	経営形態	直営
		類似区分	500床以上

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	-	-	-	-
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	-	-	-	-
平均在院日数(一般病床のみ)		-	-	-

設立団体の状況		
人口(人)	493,940	
決算規模(千円)	227,452,704	
標準財政規模(千円)	113,099,071	
財政力指数	0.74	
経常収支比率(%)	93.3	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.9
	将来負担比率(%)	-

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	119,095			
1 経常収益	119,095			
(1) 医業収益	-			
(うち修正医業収益)	-			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	-			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	119,095			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	-			
(うち長期前受金戻入)	-			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	119,095			
2 経常費用	119,095			
(1) 医業費用	-			
職員給与費	-	-	59.4	52.8
材料費	-	-	26.1	31.5
(うち薬品費)	-	-	14.0	17.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	13.9
減価償却費	-	-	8.7	7.7
経費	-	-	22.1	18.0
(うち委託料)	-	-	11.7	10.7
研究研修費	-			
資産減耗費	-			
(2) 医業外費用	119,095			
(うち支払利息)	119,095	-	1.0	0.9
(3) 特別損失	-			
経常損失	-			
損益				
純損益	-			
累積欠損金	-			
経常収支比率	100.0		103.3	102.8
医業収支比率	-		85.5	90.3
修正医業収支比率	-		82.8	88.3
他会計繰入金対経常収益比率	-		11.1	7.5
他会計繰入金対医業収益比率	-		14.1	9.0
他会計繰入金対総収益比率	-		11.0	7.4
実質収益対経常費用比率	100.0		91.9	95.1

備考：
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	-
1 固定資産	-
(1) 有形固定資産	-
(2) 無形固定資産	-
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	-
(1) 現金及び預金	-
(2) 未収金及び未収収益	-
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	-
1 固定負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時借入金	-
(8) リース債務	-
2 流動負債	-
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	-
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	-
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	-
(1) 長期前受金	-
(2) 長期前受金収益化累計額()	-
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	-
1 資本金	-
2 剰余金	-
(1) 資本剰余金	-
(2) 利益剰余金	-
負債・資本合計	-
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	-	-
資本勘定繰入	-	-
計	-	-

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	-
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考：
 ・修正医業収益とは、医業収益から
 その他医業収益のうち他会計負担金を
 除いたもので、修正医業収支比率とは、
 修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益の
 うち他会計負担金を除いたものと医業外収益から
 他会計補助・負担金を除いたものの合計で、
 実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に
 占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、
 「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、
 「健全化法上の資金不足額」、
 「健全化法上の資金不足比率」、
 「地財法上の資金不足額」、
 「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で
 算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の
 財政構造の弾力性を判断するための指標で、
 人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に
 支出される経費(経常的経費)に充当された
 一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする
 毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、
 減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債
 の合計額に占める割合をいう。

病院事業決算状況(令和4年度)				都道府県名	
				大阪府	
市町村・組合名	阪南市				
病院名	阪南市民病院				
施設及び業務概況等					
法適用区分	当然財務	特殊診療機能	ド 訓		
病院区分	一般病院	不採算地区病院	非該当		
建物面積	14,965 m ²	不採算地区中核病院	非該当		
診療科数	24	指定病院の状況	救 輪		
許可公営企業		看護配置	10:1		
DPC対象病院	対象	経営形態	指定管理者(利用料金制)		
		類似区分	100床以上~200床未満		

特殊診療機能欄 ド...人間ドック 透...人工透析 I...ICU・CCU 未...NICU・未熟児室 訓...運動機能訓練室 ガ...ガン(放射線)診療
 指定病院の状況欄 救...救急告示病院 臨...臨床研修病院 が...がん診療連携拠点病院 感...感染症指定医療機関 へ...へき地医療拠点病院 災...災害拠点病院
 地...地域医療支援病院 特...特定機能病院 輪...病院群輪番制病院

病床利用率・平均在院日数(%)				
区分	病床数	令和4年度	令和3年度	令和2年度
一般	185	77.6	78.6	76.1
療養	-	-	-	-
結核	-	-	-	-
精神	-	-	-	-
感染症	-	-	-	-
計	185	77.6	78.6	76.1
平均在院日数(一般病床のみ)		13.1	12.4	13.2

設立団体の状況		
人口(人)	51,254	
決算規模(千円)	20,581,311	
標準財政規模(千円)	11,582,366	
財政力指数	0.52	
経常収支比率(%)	92.5	
健全化判断比率	実質赤字比率(%)	-
	連結実質赤字比率(%)	-
	実質公債費比率(%)	6.2
	将来負担比率(%)	26.4

損益計算書(千円・%)				
区分	決算額	費用 医業収益	全国平均	類似平均
総収益	333,119			
1 経常収益	333,119			
(1) 医業収益	9,053			
(うち修正医業収益)	9,053			
入院収益	-			
外来収益	-			
診療収入計	-			
繰延運営権対価収益	-			
運営権者更新投資収益	-			
その他医業収益	9,053			
(うち他会計負担金)	-			
(2) 医業外収益	324,066			
(うち国・都道府県補助金)	-			
(うち他会計補助・負担金)	236,463			
(うち長期前受金戻入)	4,556			
(うち資本費繰入収益)	-			
(3) 特別利益	-			
(うち他会計繰入金)	-			
総費用	347,278			
2 経常費用	347,278			
(1) 医業費用	309,465			
職員給与費	-	-	59.4	67.0
材料費	-	-	26.1	18.2
(うち薬品費)	-	-	14.0	8.3
(うち薬品費以外の医薬材料費)	-	-	11.8	9.4
減価償却費	79,354	876.5	8.7	10.2
経費	229,568	2535.8	22.1	28.8
(うち委託料)	9,396	103.8	11.7	13.2
研究研修費	-			
資産減耗費	543			
(2) 医業外費用	37,813			
(うち支払利息)	34,276	378.6	1.0	1.1
(3) 特別損失	-			
損益				
経常収支比率	95.9		103.3	104.5
医業収支比率	2.9		85.5	80.1
修正医業収支比率	2.9		82.8	76.0
他会計繰入金対経常収益比率	71.0		11.1	15.0
他会計繰入金対医業収益比率	2612.0		14.1	20.8
他会計繰入金対総収益比率	71.0		11.0	15.1
実質収益対経常費用比率	27.8		91.9	88.8

備考:
 「類似平均」については類似区分(一般病院の500床以上、同400床以上500床未満、同300床以上400床未満、同200床以上300床未満、同100床以上200床未満、同50床以上100床未満、同50床未満、結核病院、精神科病院、建設中)に基づき算出している。

貸借対照表(千円・%)	
区分	決算額
資産合計	2,361,888
1 固定資産	2,190,116
(1) 有形固定資産	2,188,383
(2) 無形固定資産	1,733
(3) 投資その他の資産	-
2 流動資産	171,772
(1) 現金及び預金	170,750
(2) 未収金及び未収収益	1,022
(3) 貸倒引当金()	-
(4) 貯蔵品	-
3 繰延資産	-
負債合計	2,309,236
1 固定負債	2,126,848
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	2,126,848
(2) その他の企業債	-
(3) 再建債(特例債含む)	-
(4) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(5) その他の長期借入金	-
(6) 引当金	-
(7) 一時的借入金	-
(7) リース債務	-
2 流動負債	100,564
(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	95,992
(2) その他の企業債	-
(3) 建設改良費等の財源に充てるための長期借入金	-
(4) その他の長期借入金	-
(5) 引当金	-
(6) リース債務	-
(7) 一時借入金	-
(8) 未払金及び未払費用	4,572
(9) 前受金及び前受収益	-
3 繰延収益	81,824
(1) 長期前受金	322,679
(2) 長期前受金収益化累計額()	240,855
(3) 繰延運営権対価	-
(4) 繰延運営権対価収益化累計額()	-
(5) 運営権者更新投資	-
(6) 運営権者更新投資収益化累計額()	-
資本合計	52,652
1 資本金	2,900,648
2 剰余金	-2,847,996
(1) 資本剰余金	1,266,386
(2) 利益剰余金	-4,114,382
負債・資本合計	2,361,888
不良債務	-
実質資金不足額	-
資本不足額()	-
資本不足額(繰延収益控除後)()	-
備考	

他会計からの繰入状況(千円)		
区分	基準額	実繰入額
収益勘定繰入	52,541	236,463
資本勘定繰入	47,287	47,287
計	99,828	283,750

不良債務額・不良債務比率の過去3ヵ年推移		
年度	不良債務額(千円)	不良債務比率(%)
令和4年度	-	-
令和3年度	-	-
令和2年度	-	-

資金不足等の状況	
累積欠損金比率(%)	45447.7
健全化法上の資金不足額(千円)	-
健全化法上の資金不足比率(%)	-
地財法上の資金不足額(千円)	-
地財法上の資金不足比率(%)	-

備考:
 ・修正医業収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたもので、修正医業収支比率とは、修正医業収益の医業費用に占める割合をいう。
 ・実質収益とは、医業収益からその他医業収益のうち他会計負担金を除いたものと医業外収益から他会計補助・負担金を除いたものの合計で、実質収益対経常費用比率とは、実質収益の経常費用に占める割合をいう。
 ・「不良債務額」、「不良債務比率」、「累積欠損金比率」は病院事業単位で算出し、「健全化法上の資金不足額」、「健全化法上の資金不足比率」、「地財法上の資金不足額」、「地財法上の資金不足比率」は特別会計単位で算出している。
 ・設立団体の経常収支比率とは、地方公共団体の財政構造の弾力性を判断するための指標で、人件費、扶助費、公債費のように毎年度経常的に支出される経費(経常的経費)に充当された一般財源の額が、地方税、普通交付税を中心とする毎年度経常的に収入される一般財源(経常一般財源)、減収補填債特例分、猶予特例債及び臨時財政対策債の合計額に占める割合をいう。